

一般社団法人 日本チタン協会

平成 29 年度事業報告書

〔 自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日 〕

1. 各委員会の活動実績

1.1 TKK（開発幹事会）

- ・ 協会の技術関連活動情報の共有の場として活動（6月9日、9月8日、12月7日、3月2日に開催）。9月に賛助会員功労賞を審査。3月に社会貢献型チタン需要開拓助成事業 採択審査委員会として助成対象として1件を会長に具申することを採択した。

1.2 表彰審査委員会

- ・ 9月12日に開催し、平成29年度協会表彰（個人9名、法人2社）を選考した。技術賞1名、協会事業功労賞3名、永年技術功労賞5名、賛助会員功労賞2法人。

1.3 開発会議

- ・ 「社会貢献型チタン需要開拓助成事業」を継続した
- ・ 啓発活動の一環として、当年度も中学校理科副読本を1万部作成し、中学校に配布した

1.3.1 海淡・環境部会

- ・ NEDO、大学、企業等からエネルギー分野に関する情報収集、チタン適用可能性の調査を継続

1.3.2 船舶・建設・海洋部会

① 船舶 WG

- ・ (国研)海上技術安全研究所との連携・支援活動として、4月23日の一般公開での協力を実施。

1.3.3 医療部会

- ・ 外部機関との連携（阪大産学医工連携推進検討会・バイオマテリアル学会との連携）
- ・ 需要拡大のための資料（チタン誌掲載の医療用チタンシリーズ10報の冊子化の準備）
- ・ 医療機器展示会 MEDTEC JAPAN（4月19～21日）、高機能金属展（東京4月5～7日、関西9月20～22日）へ医療用チタン部品を出展した。

1.3.4 賛助会員部会

- ・ ワーキンググループによる市場開拓活動
- ・ 啓発活動として、市場開発・製品開発スタッフ養成講座を開催した（尼崎6月15～16日、東京7月13～14日）
- ・ 賛助会員同士の交流の場づくりとして、総会（7月27日、2月15日）、研修会・交流会を実施

1.3.4.1 ファスナーWG

- ・ 高強度チタン合金製ファスナーの規格化推進（ファスナーWG 小委員会で試験、データ収集を実施した）
- ・ 展示会への出展・PR 活動：軽量化技術展 N プラス（9月13～15日）、高機能金属展（前述）
- ・ 日本ねじ研究協会誌にチタンおよびチタンねじ情報の掲載を要請し、原稿作成中。

1.3.4.2 福祉・医療 WG

- ・ チタン製ペット用品の共同開発を継続（トリマー用鋏、犬用車椅子の試作評価）
- ・ 義肢装具へのチタン適用検討活動を実施（北海道科学大学との連携、目白大学から講演）
- ・ パラリンピック：アイススレッジ協会とのコンタクト

1.3.4.3 西日本支部

- ・ 西日本地区の賛助会員の交流を活発にし、企業間の連携を図り、チタンの需要開拓、PR に努め、一層の用途拡大を図る。運営委員会開催（5月、9月、11月、1月）。
- ・ 西日本支部総会（9月19日 77名、1月23日 65名参加）・講演会（9月：日阪製作所、シャルマン、クロセ、MIE テクノ。1月：トヨタ自動車、川崎重工）・交流会・企業見学会（9月：日阪製作所、36名参加）を開催した
- ・ 市場開発・製品開発スタッフ養成講座を開催（尼崎 6月15～16日）
- ・ 情報の収集・発信、チタンの PR 活動の実施
- ・ 新規需要開拓テーマの探索継続

1.4 業務委員会

- ・ 総会・理事会審議事項の事前検討
- ・ 会員異動に係る審査・検討
- ・ 関係官庁や関係団体との連携実施（スポンジダンピング米国からの提訴対応、HS コード追加要請、電力多消費産業問題、関税格差是正課題等）
- ・ 国際交流活動に関する検討・方針の決定：ITA での協会会長基調講演内容を検討した

1.5 編集委員会

- ・ 需要拡大に寄与する技術情報誌「チタン誌」の継続発行（4月、7月、10月、1月発刊）
- ・ 各分科会、WG 活動成果のタイムリーな紹介を逐次実施した

1.6 環境委員会

- ・ 安全分科会を開催（6月30日：大チタ尼崎、11月2日：東チタ茅ヶ崎）：安全衛生に関する取組みに関する情報交換・安全巡視、安全統計の集計配布を実施した
- ・ 環境委員会を開催（3月16日。大チタ、東チタ、石原産業、経産省）
- ・ 情報交換（関係省庁・関係団体の動き確認、各社の事故・災害防止情報）
- ・ 放射線規制対応（3月12日、日本酸化チタン工業会と情報交換）
- ・ チタン業界の環境問題対応（廃棄物の再資源化の検討他）

1.7 技術委員会

- ・ チタン規格の充実化、国際標準化を推進した
- ・ チタン関連技術データベースの充実化（チタン溶接トラブル事例集の充実化等）
- ・ 第24回チタン講習会の開催（仙台10月19～20日、IHI相馬第2工場見学、24名参加）
- ・ 第12回学生と教師のための工場見学会開催（東チタ茅ヶ崎、8月24日、20名参加）

1.7.1 材料分科会

- ・ ISO規格に対応したJISチタン管規格の整備：溶接管H4631の改正、継目無管H4632の新設にむけ最終案を提出した
- ・ ISO28401「チタン—用語」規格の定期見直しを検討
- ・ ISOチタン展伸材3規格制定に向けた原案提案を検討（板、棒、溶接管用条）
- ・ ASTM溶接管規格の改正案発効に必要な対応支援

1.7.2 耐食性分科会

- ・ チタンの耐食性課題への対応

1.7.3 非破壊検査分科会

- ・ JIS規格（ECT、UST）見直し
- ・ 放射線透過試験用透過度計の補充製作

1.7.4 分析分科会

- ・ ISO炭素定量法、蛍光X線分析法の修正案並びにICPによる微量元素定量法のISOへの提案

1.7.5 溶接分科会

- ・ (国研)産業技術総合研究所との共同研究（鋼・チタンの異材レーザー溶接）
- ・ チタン溶接トラブル事例集の編集作業（今年度20回打合せ実施、2018年10月頃発刊目標）
- ・ チタン溶接技術の向上・普及活動（チタン溶接シールド治具の製作・色見本製作・頒布）
- ・ AWS（米国溶接協会）及び日本溶接協会への協力

1.7.6 規格調整幹事会

- ・ ASTM委員会への出席（5月トロント、11月アトランタ：正木委員）
- ・ ISO/TC79/SC11（チタン）およびその国内対策委員会への対応

1.8 ISO/TC79/SC11 国内対策委員会

- ・ 国際会議の開催出席（ISO/TC79/SC11開催、ISO/TC79出席、北京、9月26～29日）
- ・ 国際規格の提案

1.9 産学連携委員会

- ・ 学側若手研究者と産業側との交流会「第5回産学若手交流会」を開催（北九州10月27日35名参加、学側6名産側3名が発表）、東チタ若松工場を見学（学側のみ）
- ・ 日本機械学会hcp分科会へ参画した
- ・ 軽金属学会との連携を継続、「軽金属」誌へのチタン基礎講座連載中。
- ・ 「チタン研究助成制度」の一般会計による運営の着実な実施

1.10 事務局活動

1.10.1 起用監査法人の変更

- ・会計処理規則の変更（独立法人による任意監査の明文化、法人変更は理事会承認事項）
- ・監査法人の変更（新日本有限責任監査法人⇒明治アーク監査法人）
- ・監査費用の圧縮（140万円⇒100万円、消費税別途）

1.10.2 協会ホームページ更新

- ・会員へのサービス向上、チタン・チタン協会の更なる周知のために、構成・写真・機能を一新して12月1日に新ホームページを開設した
- ・費用：約150万円
- ・会員会社の紹介機能を充実、会員HPへリンク
- ・掲示板を事務局で更新できる新機能により即時性とコストダウンを実現（従来は都度管理会社に依頼していた）
- ・広告バナーを募集することを今後検討していく（税務処理の確認。増収への期待）

2. 会 員

2.1 会員総数

平成30年3月30日現在の会員数：正会員17社、賛助会員170社、個人会員30名

2.2 会員の異動

2.2.1 入会（理事会承認）

賛助会員	平成29年11月	光メタルセンター株式会社
	平成30年3月	アドバンスト マテリアル ジャパン 株式会社アルケー 株式会社メディア・マーク
個人会員	平成29年5月	1名
	平成29年11月	2名
	平成30年3月	2名

2.2.2 退会（理事会承認）

正会員	平成29年11月	アドバンスト マテリアル ジャパン
賛助会員	平成29年5月	TSM Tech Co.,Ltd.（韓国）
	平成29年11月	株式会社コボリ 株式会社イノック
	平成30年3月	株式会社トーテック 田中技研株式会社

		川崎窒化工業株式会社
		望月螺旋株式会社
個人会員	平成 29 年 5 月	2 名
	平成 29 年 11 月	1 名

3. 役員

3.1 平成 29 年度役員（敬称略 所属・役職は当時）

会長	尾上 善則	理事	株式会社神戸製鋼所	代表取締役副社長
副会長	杉崎 康昭	理事	株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ	代表取締役社長
副会長	関 公彦	理事	大同特殊鋼株式会社	執行役員
副会長	坂田 一成	理事	住友商事株式会社	理事 鋼板本部長
専務理事	三木 基	理事	一般社団法人日本チタン協会	事務局長
	加賀美和夫	理事	東邦チタニウム株式会社	相談役
	松木 教彰	理事	新日鐵住金株式会社	参与 チタン・特殊ステンレス事業部長
	桑原 隆人	理事	三井物産メタルズ株式会社	取締役副社長
	高木 清秀	理事	株式会社メタルワン	
			常務執行役員	線材特殊鋼・ステンレス本部長
	竹井 正人	理事	アルコニックス株式会社	取締役副社長
	津村 拓良	理事	神鋼商事株式会社	代表取締役専務執行役員 鉄鋼本部長
	宮下 博仁	理事	JX 金属株式会社	取締役常務執行役員
	松下 彰	理事	株式会社UACJ 銅管	代表取締役社長
	加藤 直之	監事	伊藤忠メタルズ株式会社	執行役員 原料事業部長
	鶴見 吉晴	監事	日鉄住金物産株式会社	常務執行役員

3.2 平成 29 年度役員の変動（敬称略 所属・役職は当時）

平成 29 年 11 月 28 日に開催された臨時総会において役員の変動が承認された。

3.2.1 理事退任

加賀美和夫 理事 東邦チタニウム株式会社 相談役

3.2.2 理事就任

西山 佳宏 理事 東邦チタニウム株式会社 代表取締役社長

4. 会議

4.1 総会

4.1.1 平成 29 年度通常総会

平成 29 年 5 月 26 日に学士会館で開催、正会員 18 社中 18 社（委任状含む）の代表者が出席、

以下の議案について審議し、それぞれ承認された。

第1号議案 平成28年度事業内容の報告と貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認

第2号議案 任期満了に伴う理事・監事の改選

4.1.2 平成29年度臨時総会

平成29年11月28日に学士会館で開催、正会員18社中18社（委任状含む）の代表者が出席、以下の議案について審議し、承認された。

第1号議案 理事の選任

4.2 理事会

4.2.1 第307回理事会（平成29年5月26日開催）

理事13名中10名が出席、以下の議案について審議し、承認された。

第1号議案 平成28年度事業報告及び決算の承認

4.2.2 第308回理事会（平成29年5月26日開催）

理事13名中11名が出席、以下の議案について審議し、それぞれ承認された。

第1号議案 会長・副会長・専務理事の承認

第2号議案 委員会委員長委嘱の承認

第3号議案 コンサルタント委嘱者

第4号議案 入会の承認

4.2.3 第309回理事会（定款第29条2項に基づき、理事全員の承認を得て書面決議）

第1号議案 平成29年度表彰受賞者の決定

4.2.4 第310回理事会（平成29年11月28日開催）

理事13名中9名が出席、以下の議案について審議し、それぞれ承認された。

第1号議案 平成29年度補正予算案の承認

第2号議案 入会の承認

第3号議案 協会の規則・規程・内規の取り扱い（規則の設定）

第4号議案 協会会計の任意監査ルール化（会計処理規則の改定）

第5号議案 協会会計の監査法人の変更

第6号議案 新コンサルタント委嘱

4.2.5 第311回理事会（平成30年3月26日開催）

理事13名中9名が出席、以下の議案について審議し、それぞれ承認された。

第1号議案 入会の承認

第2号議案 平成30年度事業計画及び収支予算案の承認

事業報告の付属明細書

平成 29 年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第 33 条(2)に規定する事業報告の付属明細書は作成しない。